

しゃかいふく し ほうじん こうとうかえで かい
社会福祉法人 江東 楓 の会

こうれいしょうがいしゃつうしょ し せつ
高齢障害者通所施設



さくら



ほうじん
法人ホームページ



ずい じ けんがくうけつけちゅう
随時見学受付 中

ほんかん せいかつかい ご じ ぎょう
本館 (生活介護事業)

135-0043

こうとう く しおはま ふく し
江東区塩浜 2-5-20-塩浜福祉プラザ4F

TEL 03-3615-5787

FAX 03-3615-5782

E-mail sakura-h@kaede.or.jp



施設概要

設置主体・運営主体



社会福祉法人江東 楓の会

設立

平成19年3月 法外施設として“江東区手をつなぐ親の会”が開設

平成22年4月 パンの製造販売をする分室「ブレドール」を開設(亀戸)

平成26年4月 江東 楓の会に運営を移し、

本館を生活介護事業「高齢障害者通所施設 さくら」として

分室を就労継続支援事業B型とし亀戸より東砂へ移転。

屋号を「さくらこんとね」としてスタートを切る。

令和5年9月 さくら分室閉所

さくらができるまで

平成11年、毛利にあった高齢者の授産施設である「毛利福祉作業所」に、同じ建物内にある「江東区第二あすなろ作業所」の高齢の利用者が異動し「すずらんグループ」として始まりました。

その後、江東区手をつなぐ親の会が、江東区に高齢になった障害者の独立した施設がほしいとお願いし、平成19年3月、すずらんグループのメンバーを中心に「高齢障害者通所施設 さくら」を設立。同年4月に、塩浜福祉プラザに移転。江東区の単独補助により平成26年3月まで運営を行ってきました。平成26年4月からは「江東 楓の会」に運営を移し現在に至ります。

さくらってどんなところ？

さくらは、知的に障害があり高齢となられた方のための通所施設です。

軽作業や余暇活動を通して生活のリズムを作り、

利用者一人ひとりが、地域の中で安全で安心した

社会生活が送れるように支援しています。



いちにち さくらの一日

しょうさいじょうほう 詳細情報

9:00

かいしょ
開所

けんこう
健康チェック



ちゃ
お茶



10:00

ちょうれい たいそう
朝礼・体操

10:30

さぎょう
作業



11:30

ちゅうしょく
昼食



ひるやす
昼休み



13:30

きん
筋トレ・ウォーキング



13:45

レク・作業など

14:45

ちゃ
お茶



15:20

しゅうれい
終礼

15:30

きたく
帰宅

たいしょうしゃ
対象者

- ・愛の手帳を所持している方。
- ・生活介護受給者証をお持ちの方で、年齢制限はありませんが、50歳くらいからの利用となります。

サービス内容

- ・看護師による健康チェック(毎日)
- ・嘱託医による内科健診(月1回)
- ・訪問マッサージ(希望者・保険診療による自己負担あり)
- ・施設車両、送迎バスを利用した送迎(定員超過・居住地により対応できない場合があります)
- ・給食の提供(400円/1食)
- ・軽作業、レクリエーションなど

かいしょ じ かん
開所時間

平日8:30～17:15
(年1～2回土曜開所あり)

ていいん
定員

20名

じしゅせいさんひんしょうかい
自主生産品紹介

さくらでは、ビーズやリボンなどで^{つく}作ったブレスレットや
ストラップ、^{だい}台ふきを^{せいさく}制作しています。

台ふきん(3枚)



ふきん(1枚)



ネームストラップ



メガネチェーン



ぶどうストラップ



鈴



できあがった商品は

るーくるや区内の

おまつりなどで販売

しています。

ビーズブレスレット



リボンレイ

ストラップ

